

令和8年度授業科目内容・科目別授業計画

臨床医学 I-① 世話人：中島 康晴 教授

一般学習目標：脳神経系および運動器の主な疾患について、その臨床と病態を理解する。
視器、聴覚器および皮膚の主な疾患について、その臨床と病態を理解する。

講義番号	年月日	曜日	時限	テ ー マ	担当教員	場所
1	8.5.28	木	1	脳血管障害の臨床 ①脳血管障害の病態と治療を説明できる。	有村 公一 脳神経外科学 内線 5524 arimura.koichi.001@m.kyushu-u.ac.jp	臨床大講堂
2	8.5.29	金	1	脊椎疾患 ①脊髄障害と神経根障害について説明できる。 ②脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、脊髄損傷、側弯症など代表的脊椎・脊髄疾患の病態と治療法について説明できる。	播広谷 勝三 整形外科 内線 5488 harimaya.katsumi.080@m.kyushu-u.ac.jp	臨床大講堂
3	8.6.3	水	1	脳腫瘍の臨床 ①脳腫瘍の病態と治療を説明できる。	空閑 太亮 脳神経外科学 内線 5524 kuga.daisuke.169@m.kyushu-u.ac.jp	臨床大講堂
4	8.6.18	木	1	運動器の機能解剖と基礎科学 ①骨・軟骨・神経・筋肉の構造と役割、関節運動について説明できる。 ②骨・軟骨のホメオスタシスを維持するための細胞とその役割について説明できる。	藤原 稔史 整形外科 内線 5488 fujiwara.toshifumi.771@m.kyushu-u.ac.jp	臨床大講堂
5	8.6.19	金	1	アルツハイマー病の分子病態と最新の治療戦略 ①アルツハイマー病の臨床とその分子病態を説明できる。 ②アルツハイマー病の現在の治療法と近未来の治療戦略を説明できる。	松瀬 大 神経内科学 内線 5340 matsuse.dai.302@m.kyushu-u.ac.jp	臨床大講堂
6	8.6.19	金	2	関節疾患 ①関節の構造とバイオメカニクスについて説明できる。 ②変形性関節症・関節リウマチ等代表的関節疾患の病態と基本的治療方針を説明できる。 ③骨の発生・発育と再生について説明できる。	赤崎 幸穂 整形外科 内線 5488 akasaki.yukio.443@m.kyushu-u.ac.jp	臨床大講堂
7	8.6.24	水	2	さまざまな神経変性疾患の臨床と分子病態 ①パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症の臨床を説明できる。 ②パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症の分子レベルでのメカニズムを説明出来る。	松瀬 大 神経内科学 内線 5340 matsuse.dai.302@m.kyushu-u.ac.jp	臨床小講堂1